

医療の現場に、未来に、安全を

HOGY[®]



2023年7月14日（金）

第63期（2024年3月期） 第1四半期決算説明会

（2023年4月1日～2023年6月30日）

取締役 管理本部長 川久保 秀樹



将来予測に関する注意事項

この資料に記載されている当社の現在の計画、見通し、戦略は、将来の業績に関する見通しです。これらの記述は、現時点で入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいています。従って、これら業績見通しに全面的に依拠することはお控え願います。様々な重要な要素により、実際の業績はこれら業績見通しと異なる可能性があります。

本資料に含まれる業績については、監査法人による会計監査を受けておりません。

第1四半期の状況

第63期（2024年3月期）第1四半期損益計算書

単位：百万円 端数：切捨て	22.6 62期1Q実績		23.6 63期1Q実績		前年比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	9,447		9,679		231	102.5%
売上原価	5,357	56.7%	6,083	62.9%	726	113.6%
売上総利益	4,090	43.3%	3,595	37.1%	△494	87.9%
販売費及び一般管理費	2,232	23.6%	2,293	23.7%	61	102.7%
営業利益	1,857	19.7%	1,302	13.5%	△555	70.1%
営業外損益	△14		△72		△58	
経常利益	1,843	19.5%	1,230	12.7%	△613	66.7%
特別損益	△0		△0		△0	
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,304	13.8%	886	9.2%	△418	67.9%
EPS	53.77円		36.53円			

増収減益

売上高：増収

- ：プレミアムキット販売が好調
- ：不織布製品は、62期10月よりガウン製品の値上げを実施し、販売数量が減少
- ：感染防止関連製品の減少

- 原価：62.9%(前年比+6.1pt)
- ：新工場Ⅱ期稼働に伴う償却費の増加(+7.5億)
- ：円安の影響により原価上昇(+2.4億)
- ：原材料費・電気代等のコスト上昇(+1.4億)
- ：値上げ、生産性の改善(△4.8億)

営業利益：減益

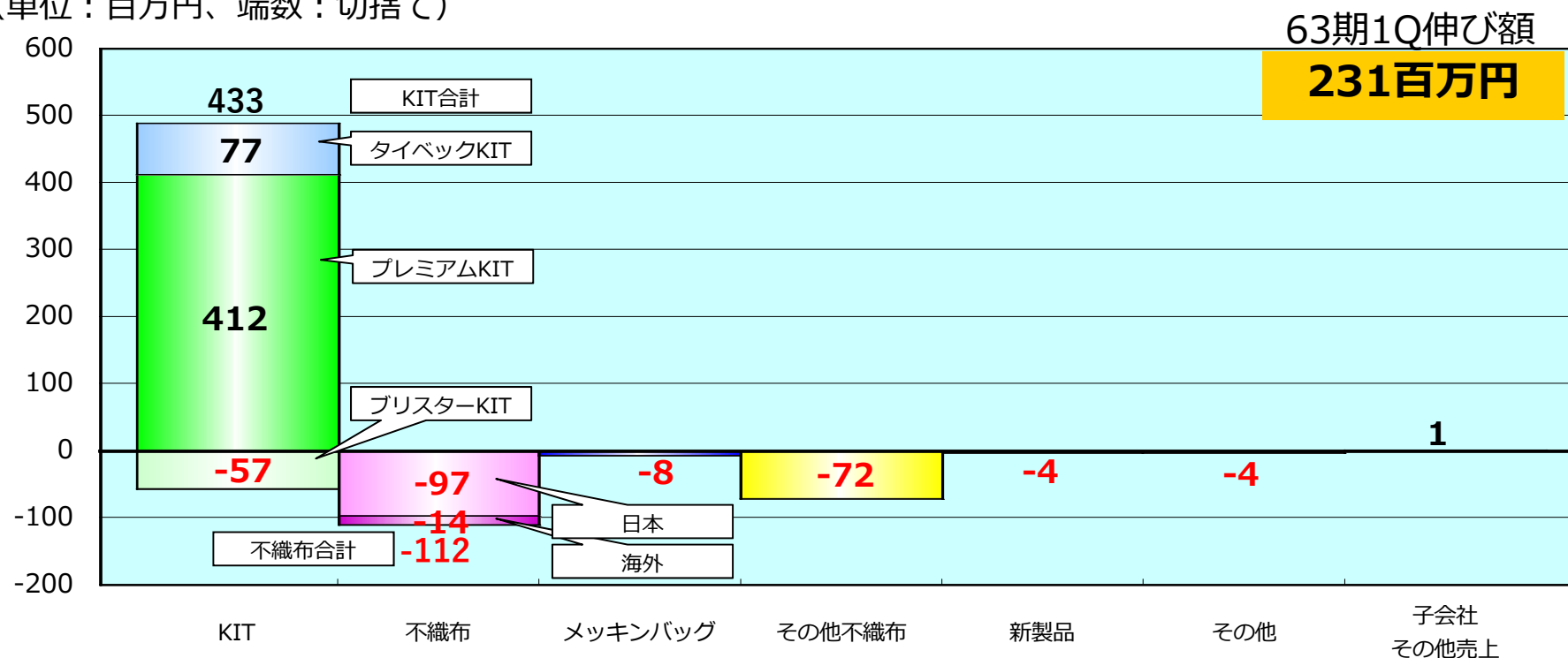
- ：新工場Ⅱ期稼働による償却費や為替影響等による原価率上昇を、値上げや生産性の改善で一部カバー

- 販売管理費：61百万円(+2.7%)
- ：人件費、見本費の増加

当期純利益：減益

第63期（2024年3月期）第1四半期 主な製品の売上高伸び額

(単位：百万円、端数：切捨て)

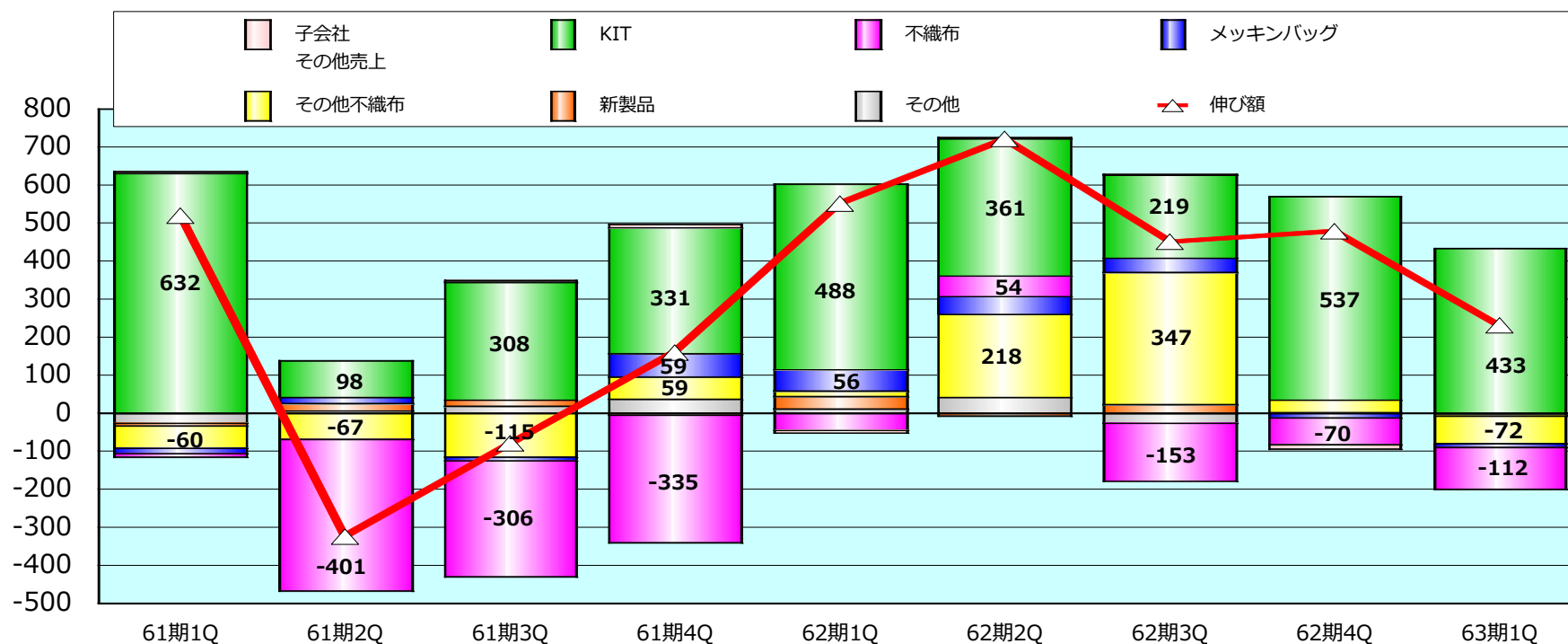


* 弊社短信での「プレミアムキット」の販売額は「プレミアムキット」「プリスターキット」の合算を記載しております

- ・プレミアム：販売に注力した結果、**新規獲得により売上高が前年比19.2%増加、数量では16.2%の増加**
- ・プリスター：**プレミアムキットへの置換による数量減少**
- ・タイベック：低利益製品の値上げによる増加
- ・不織布製品は、62期10月よりガウン製品の値上げを実施し、販売数量が減少
- ・その他不織布製品は、コロナの落ち着きにより感染防止関連製品が減少

第63期（2024年3月期）四半期別売上高伸び額の内訳

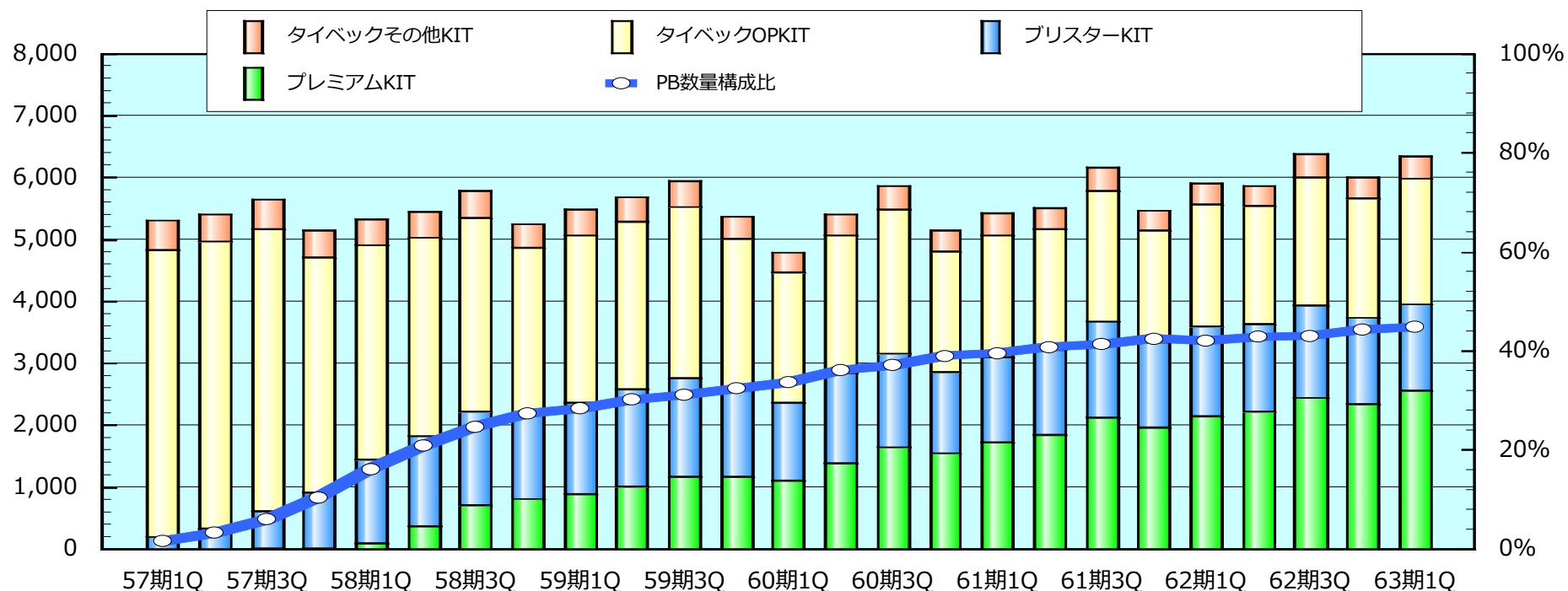
(単位：百万円、端数：切捨て)



- ・キット製品はプレミアムキットを中心とした新規獲得により増収
- ・不織布製品は、62期10月よりガウン製品の値上げを実施し、販売数量が減少
- ・その他不織布製品は、コロナの落ち着きにより感染防止関連製品が減少

キット製品 売上高推移

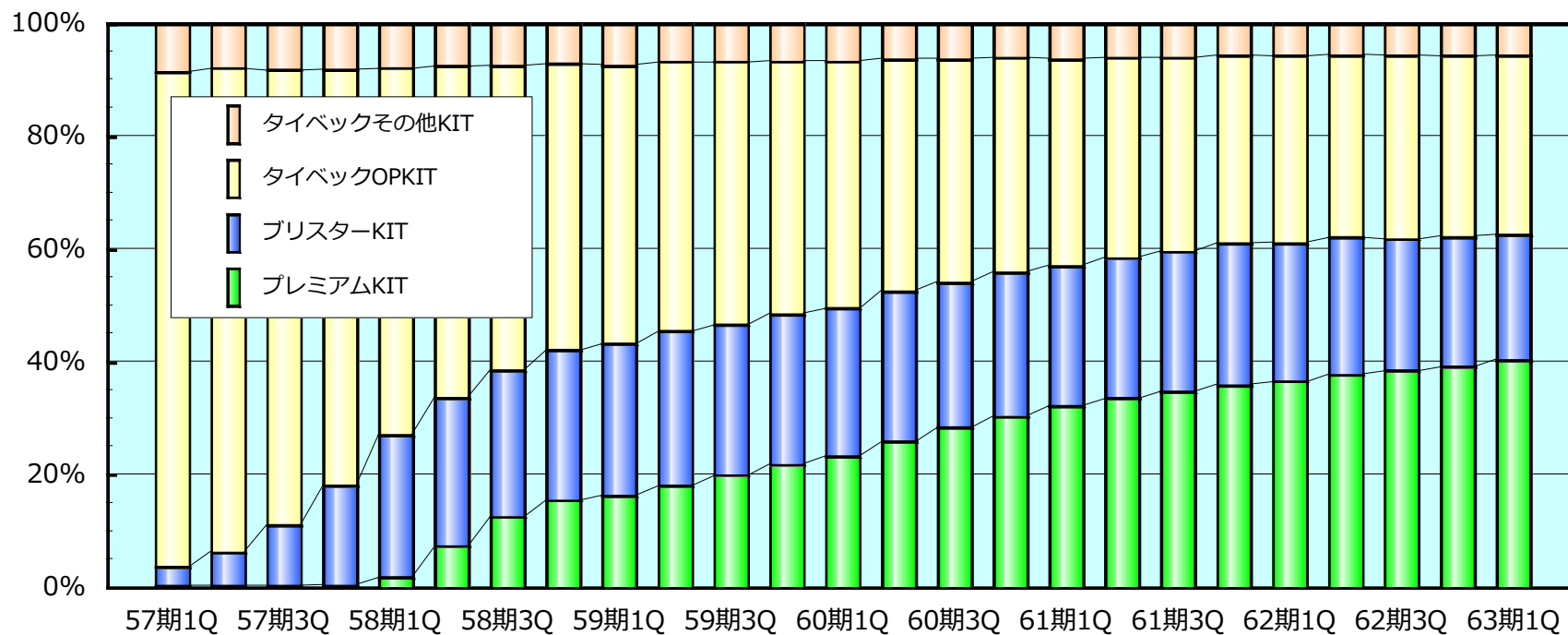
(単位：百万円、端数：切捨て)



* 弊社短信での「プレミアムキット」の販売額は「プレミアムキット」「ブリストアキット」の合算を記載しております

- ・ プレミアムキットの販売に注力した結果、プレミアムキットとブリストアキット合計の数量構成比は44.9%
- ・ 63期第1四半期 前年同期比
 - ✓ プレミアム、ブリストア : +355百万円、109.8%
 - ✓ タイベックキット : +77百万円、103.4%

キット製品 販売構成比推移



* 弊社短信での「プレミアムキット」の販売額は「プレミアムキット」「プリスターキット」の合算を記載しております

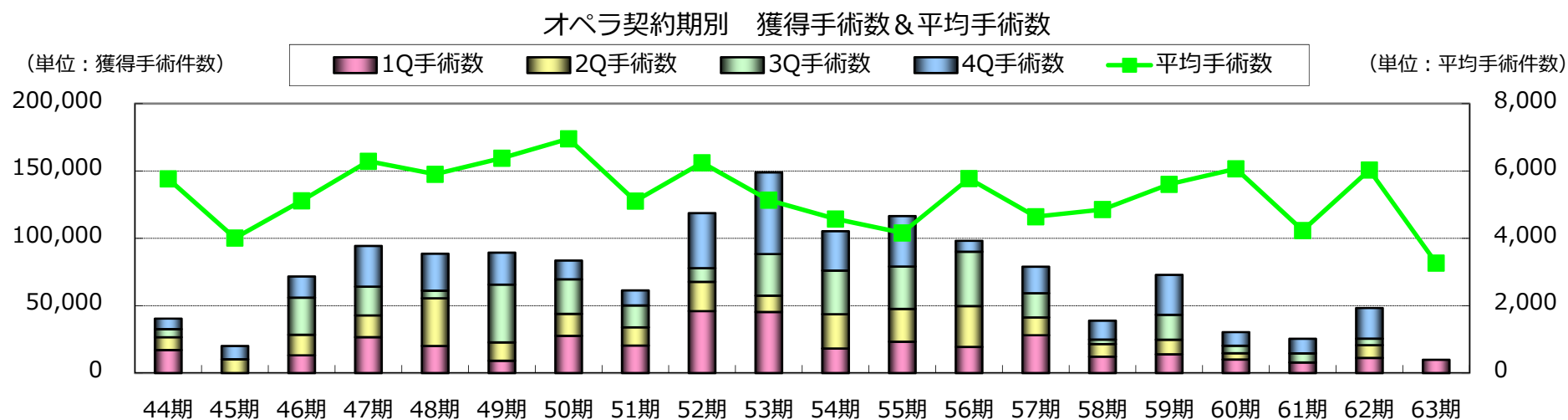
- ・タイベックOPキットの割合が減少し、プレミアムキットの売上高が伸長し割合が増加

オペラマスター契約病院の手術数推移

売上高 (KIT製品) : 4,232百万円 (前年比 290百万円 : 107.4%)

63期契約施設数 : 新規 3施設、解約 4施設

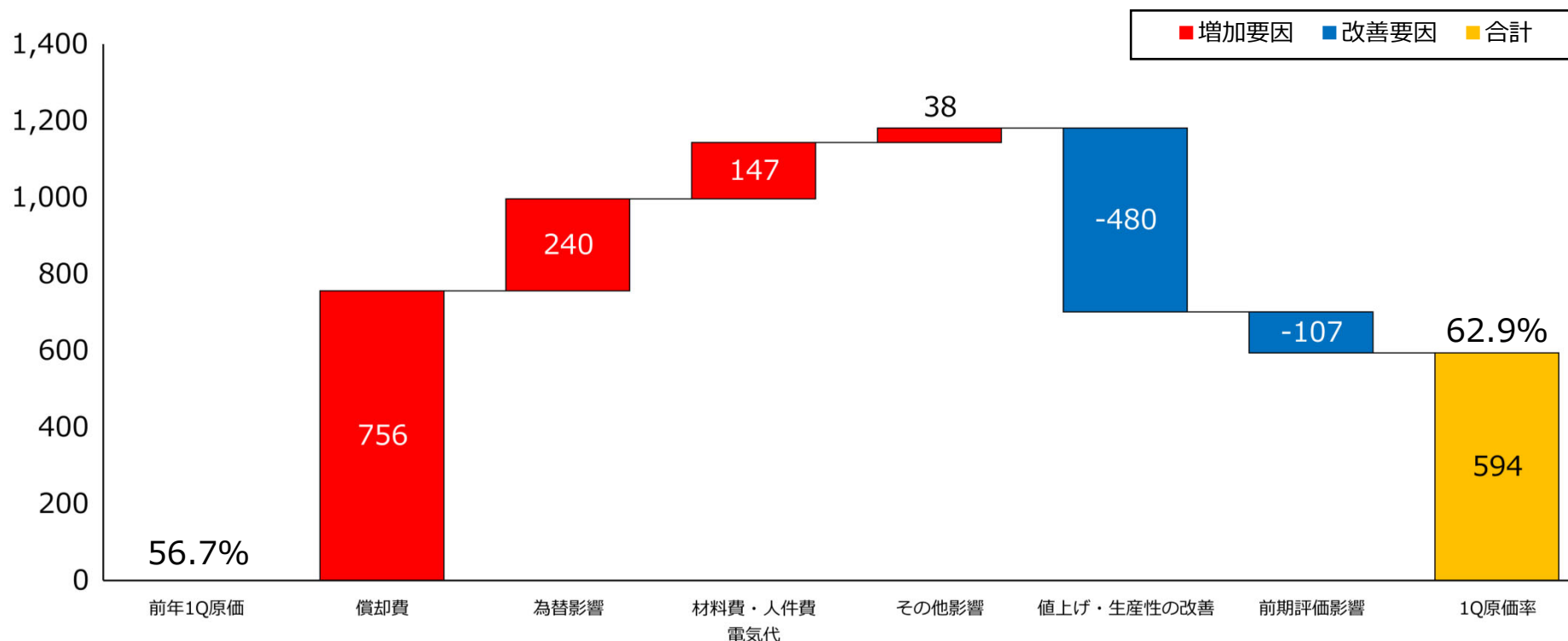
累計契約施設数 : 270施設



- ・ 63期新規契約病院3件
(DPC特定病院群 (旧Ⅱ群) : 1件、DPC標準病院群 (旧Ⅲ群) : 2件)
- ・ 63期新規契約病院の1病院当たり平均手術数は約3,300件
- ・ オペラマスター契約は患者が集中する大病院に注力

第63期（2024年3月期）第1四半期 原価率 主な増減要因

(単位：百万円、端数：切捨て)



- ・新工場Ⅱ期稼働を4月に開始し償却費が増加
- ・円安の影響により原価が上昇
- ・原材料、人件費、電気代の上昇
- ・前年度行った低利益製品の値上げの影響による利益改善

償却合計：1,637百万円（前年比：733百万円増）

・原価：1,495百万円（前年比：756百万円増）（内新工場Ⅱ期稼働分として784百万円）

・販管費：142百万円（前年比：23百万円減）

第63期（2024年3月期）第1四半期 ポイント

■ 市場環境

- ✓ 医療従事者の人手不足は常態化
- ✓ コロナ禍において手術件数を増加させ経営改善に取り組む医療機関との2極化が進む
- ✓ 医療機関での機能分化が促進（急性期充実体制加算の導入）

■ 決算のポイント

- ✓ 新規獲得によりプレミアムキットの売上高増加（前年比19.2%増）
- ✓ その他不織布製品は、感染防止関連製品の需要が減少
- ✓ 新工場Ⅱ期稼働を4月に開始し、償却費が増加
- ✓ 円安の影響により原価が上昇
- ✓ 原材料、人件費、電気代の上昇
- ✓ 前年度行った低利益製品の値上げの影響による利益改善
- ✓ 配当20円を実施（2.5円増配）

第63期（2024年3月期）経営計画

第63期（2024年3月期）損益計算書

単位：百万円 端数：切捨て	23.3 62期実績		24.3 63期計画		前年比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	38,981		40,890		1,908	104.9%
売上原価	23,241	59.6%	26,680	65.2%	3,438	114.8%
売上総利益	15,740	40.4%	14,210	34.8%	△1,530	90.3%
販売費及び一般管理費	9,105	23.4%	9,490	23.2%	384	104.2%
営業利益	6,634	17.0%	4,720	11.5%	△1,914	71.1%
営業外損益	19		180		160	
経常利益	6,653	17.1%	4,900	12.0%	△1,753	73.6%
特別損益	△464		-		464	
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,316	11.1%	3,430	8.4%	△886	79.5%
EPS	177.95円		141.40円			

■増収減益計画

■売上高（1,908百万円、+4.9%）

- ✓ プレミアムキット新規獲得増収
- ✓ その他不織布は特需の反動減

■原価（5.6pt UP）

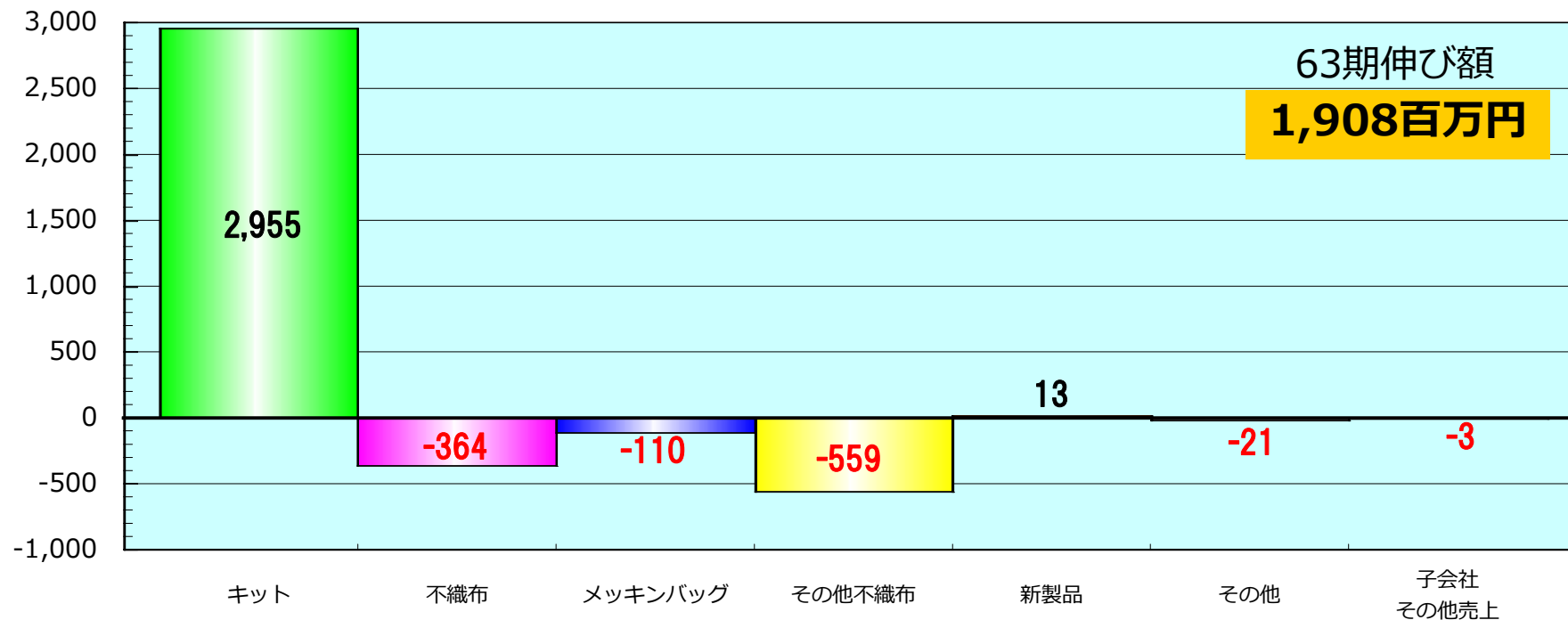
- ✓ **新工場第Ⅱ期を4月に稼働し償却額が上昇**
- ✓ 前年度並みの為替水準設定とし、コーポレートレートを**135円**に設定（前年120円）
- ✓ **円安、原材料・資材価格・電気代の高騰が続く**
- ✓ 値上げや生産性の改善、経費節減等により原価低減を図る

■販売管理費（384百万円、+4.2%）

- ✓ 営業活動促進に関わる費用に集中
- ✓ 物価高騰に合わせて人件費を上昇

第63期（2024年3月期）主な製品の売上高増減額

（単位：百万円、端数：切捨て）



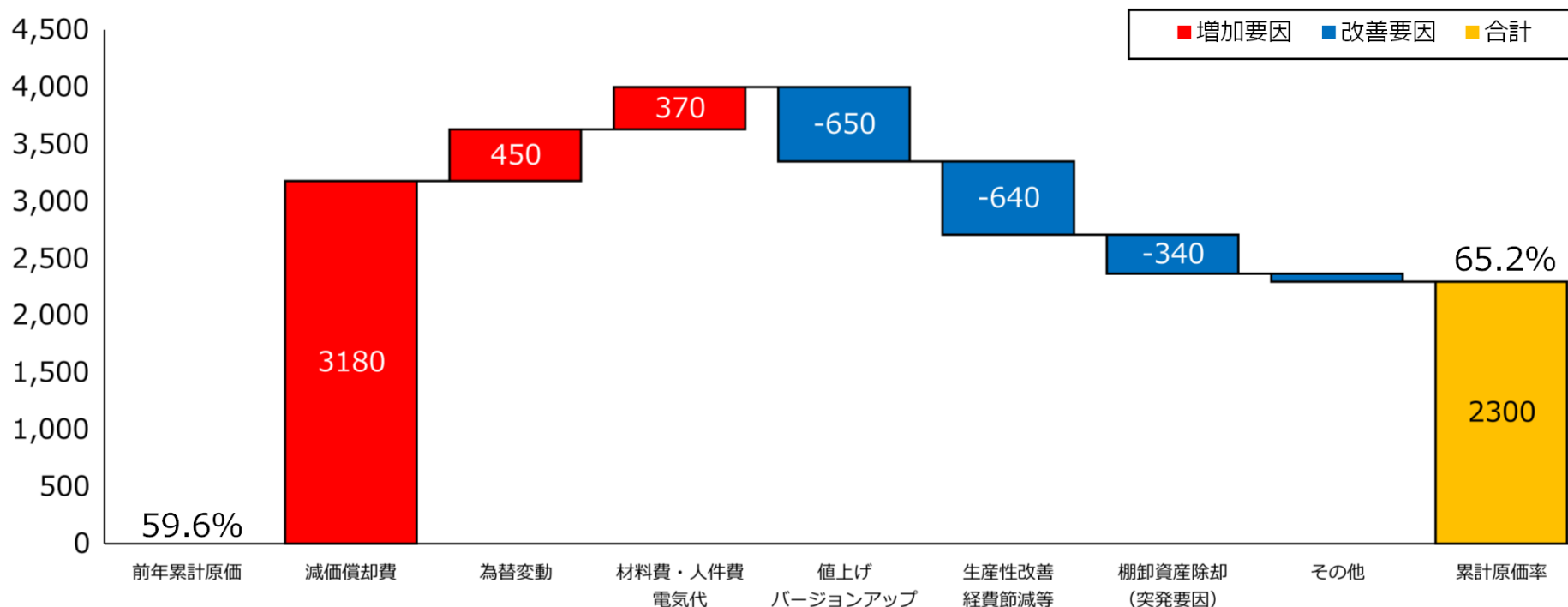
■ **キット製品**：病院の経営課題に対して貢献できる「プレミアムキット」の新規獲得

■ **不織布製品**：一部製品の値上げによる販売数量の減少が継続

■ **その他不織布製品**：N95マスクの特需の反動減を見込む

第63期（2024年3月期）原価率 主な増減要因

(単位：百万円、端数：切捨て)



- ・円安により原価上昇（コーポレートレート：135円設定）

償却合計：6,750百万円（前年比：3,114百万円増）

・ 原価：6,147百万円（前年比：3,180百万円増）（内新工場Ⅱ期稼働分として31億円）

・ 販管費：603百万円（前年比：66百万円減）

- ・ 原材料、資材価格、電気代の上昇が続く

医療の現場に、未来に、安全を

HOGY[®]



2023年7月14日（金）

第63期（2024年3月期） 第1四半期決算説明会



（2023年4月1日～2023年6月30日）

取締役 管理本部長 川久保 秀樹

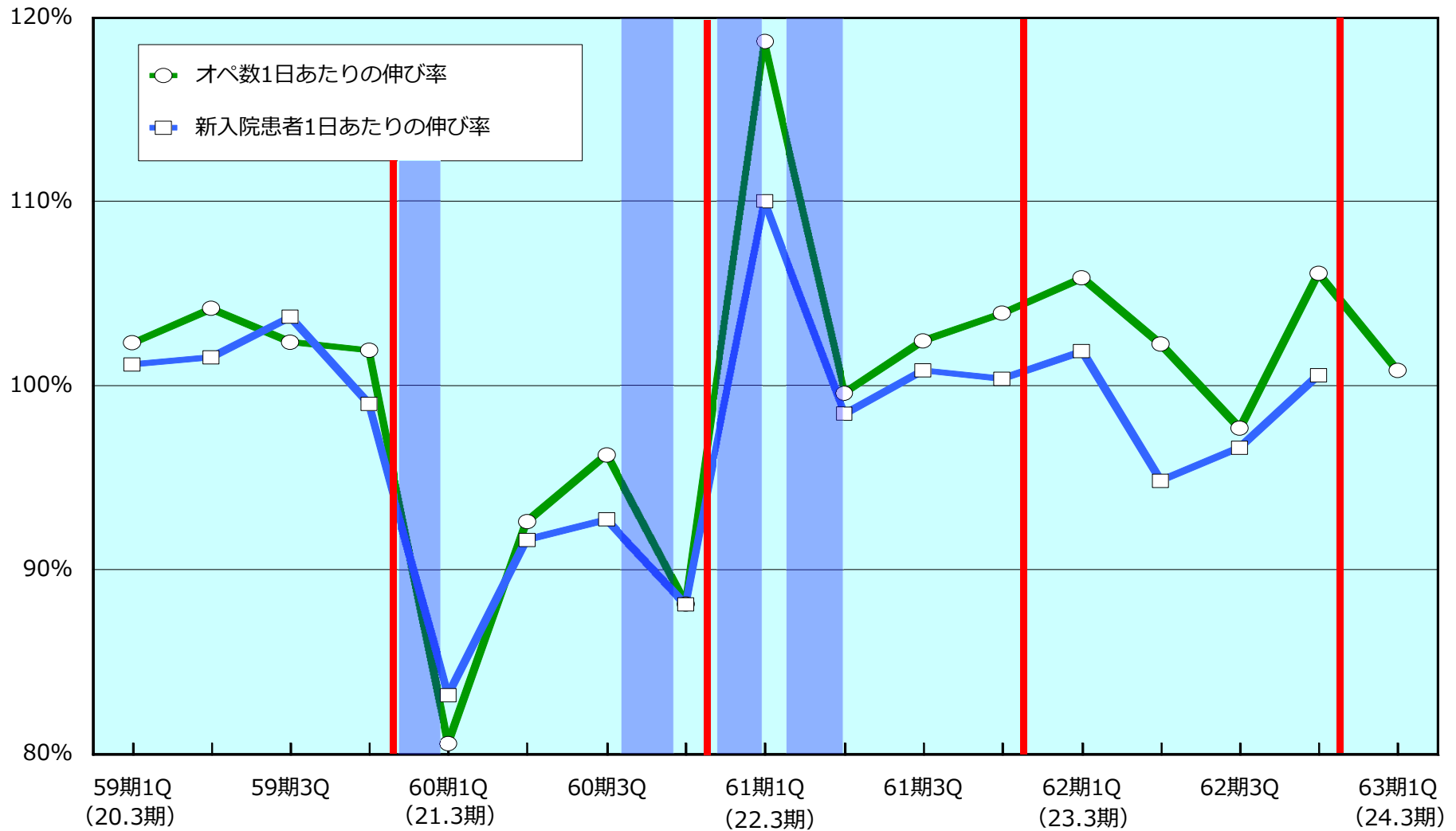


ご参考資料

各種キットの定義について

	プレミアムキット	ブリストーカーキット	タイベックキット (従来キット)
生産場所	新工場 (マルチ)		筑波、美浦
			
製品形状	手技に合わせて小分けの パッケージにマルチ包装		不織布で包み 滅菌バッグにて包装
安全性	自動化生産によるメリット (入れ間違い、異物混入大幅削減)		従来通り
基準	1症例に必要な材料の 80%以上	1症例に必要な材料の 80%~30%	使用材料の少ない症例 材料の30%未満

オペラマスター病院 手術件数の伸び率と新入院患者の伸び率/日



は、東京都の緊急事態宣言期間